

<ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの取組みに賛同> 病院・ファミリールーム・ハウスが一体となった国内初の支援拠点が誕生

入院中の子どもに付き添う家族を支えるために商品を寄贈

ケンコーマヨネーズ株式会社(東京本社:東京都千代田区、代表取締役社長:島本 国一)は、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン(以下DMHC®)および地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター(東京都府中市)が新設した「ドナルド・マクドナルド・ファミリールーム 東京都立小児総合医療センター」に対し、当社商品を寄贈したことをご報告します。同施設を利用するご家族の方の軽食として、開封するだけですぐに食べられる小容量のサラダ「サラダのプロがつくったサラダ」シリーズを寄贈し、この取組みを今後も継続的に実施していく予定です。

「ドナルド・マクドナルド・ファミリールーム」(以下ファミリールーム)は、子どもの入院に付き添うご家族が心身ともに休息できる場として病院内に設置された、わが家のようにくつろげる温かな空間です。1974年に遠方から子どもの入院に付き添う家族の滞在施設として誕生した「ドナルド・マクドナルド・ハウス」と合わせて、現在国内外に約600か所以上開設されています。今回のファミリールーム新設によって、国内で初めて、病院・ファミリールーム・ハウスが一体となった支援拠点が誕生しました。本ファミリールームは、ベランダからは富士山が見えるなど院内の展望の良い場所に設置されています。「付き添う家族を支えることは、病気の子どもを支えること」という想いのもと、ご家族がリフレッシュできる環境が整えられています。



寄贈商品

当社は、これまでもDMHCの活動に賛同し、チャリティラン&ウォークへの参加などを通じて支援に取り組んでまいりました。今後も企業理念である「心身(こころ・からだ・いのち)と環境」、「食を通じて世の中に貢献する。」のもと、事業活動と合わせて社会に寄り添った取組みを継続し、支援の輪を広げてまいります。



医療センター内には左画像のような“感謝の樹”が飾られています。一枚一枚に、支援企業のロゴマークが印字されています。



開所式の様子



ダイニング



カフェスペース

《本資料に関するお問い合わせ先》

ケンコーマヨネーズ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 広報IR部 広報IR課 Mail:kouho@kenkomayo.co.jp